

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2021  vol.41

志木高開設75年事業(2023年)キックオフ!



目次

志木高開設75年事業(2023年)キックオフ
事業内容説明と寄付方法のご案内

人との距離に気を使う昨今ですが、志木会は不滅です!
イベント参加募集&実施報告寄稿

- ・枇杷の会よりお知らせ
 - ・ホームカミングデー
 - ・同期会&OB会だより
 - ・ゴルフ親睦会参加者募集のお知らせ
- ほか

母校の「今」がわかります

- ・体育部会、文化部会NOW/ クラブ戦績
- ・志木高・志木会行事日程 ほか

収支報告、役員・幹事・クラブ幹事一覧

会長ご挨拶



慶應志木会会長

坂上 隆彦

謹啓

慶應志木会会員の皆様、従来の生活より大きな変化をもたらした昨今の世の中、夫々のお立場で夫々の対策を講じて力強くお過ごしのことと存じます。

さて、その様な中で志木会の活動も様変わり、この1年の動向で言えば、昨年秋の志木マスターズゴルフコンペは表彰パーティの無い懇親ゴルフ会として衣替え開催をしましたが、その後の収穫祭ホームカミングデー、連合三田会、幹事新年会や卒業式ご招待などは残念ながら全て中止となりました。尚、皆さまお楽しみにされております、「卒業25周年/50周年ホームカミングデー」又「卒業40周年、卒業式ご招待」につきましては学校側と打合せの上、本年以降環境を見守りつつ2期分を合同したご招待などを計画していく予定であります。楽しみにお待ちしております。更に「志木マスターズ」については事務局にて、9月開催で検討を進めております。後日のご案内をお待ちください。又、トピックスとして、朝日新聞埼玉版各土曜日に歴代の慶應志木高/農業高卒業生を取材した「青春スクロール・母校群像記」が掲載されました。各期の卒業生からのコメントが興味深く記載されております。お時間あればどうぞ一読下さい。

我々が母校、志木高の方は所在地が埼玉県志木市と言う事もあり、まん延防止重点措置区域になっておりますが感染防止対策を行った上で通常授業を継続と伺っており、これは慶應義塾の基本の一つである「半学半教」の精神を旨とし双方向の授業を重視した姿勢かと推察しております。よって、志木会としてはこの通常授業を支援する意味も込め、志木会会員各位より頂いた会費より、アルコール除菌スプレー等のコロナ対策グッズを一揃えにした携帯セットを作成し全在校生及び教職員各位に無償配布行い支援させて頂きました。今年度も255名の生徒が志木高を卒業し志木会へ入会、又237名の新生を志木高に迎えたと言う事です。我々志木高OB会として着々と集まってくる後輩陣を引き続き物心両面より支援して行きたいと思っております。

慶應義塾本体では本年は塾長任期満了の年、5月28日より「伊藤公平」新塾長が就任されました。就任記者会見では「塾生の為に」と言う視点、を強調されており、志木高では開設75周年記念事業への募金活動も正しくこの視点に当たるかと推察します。詳細は募金委員会よりのご案内を参照頂くとして、後輩諸氏への物心両面よりの支援の為、更にはお世話になった母校の為、そして先輩各位への敬意、感謝の気持ちも込めて奮って募金へのご賛意をお願いし本年のご挨拶とさせて頂きます。どうぞご健勝にお過ごし下さいませ。

謹白

令和3年6月吉日

名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 美樹

志木会の皆様には、日頃より、奨学金、国際交流支援、志木会賞等様々な形で本校をご支援いただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、御礼申し上げます。

昨年の『会報』に、75周年記念事業については、「頓挫」している状況と書きましたが、今年になって漸く、3月19日の評議員会で承認されました（『議題 第5 志木高等学校開設75年事業の募金活動』として）。開設75年（2023年）とその先を見据えて、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」という基本方針を定めたのが、2018年10月でしたので、ここまで足掛け4年になります（この間、慶應義塾の慣行にしたがい、「75周年記念事業」から「開設75年事業」に名称変更）。本年からやっと、募金活動に取り組むことができます。

この機会に、改めて「開設75年事業」について説明させていただきます。

慶應義塾における学問が「人間交際^{じんかん}」(society)のための「実学」「サイヤンス(科学)」(「慶應義塾紀事」)、あるいは実証科学・応用科学を重視していることはよく知られています。上記方針の中で用いた「数理」も、実学=実証科学・応用科学(自然科学のみならず人文科学、社会科学を含む。)に他なりません。そして、実学の本質は、「多事争論」「異説争論」(批判的討論)を通じた、真理原則の飽くなき追究と、その応用にあります。

「多事争論」「異説争論」を重視するというとき、「少人数・適正規模教育」や多様な「交際」が有効なこと、さらには知的・精神的な「独立」が不可欠なことは言うまでもありません。「交際」には、志木会はもちろんのこと、慶應義塾内の交際、地域における交際、外国との国際交流(交際)、ひいてはこれらの交流を通じた、「智見の交易」までも含みます。

「開設75年事業」で目指すのは、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」という方針を具体化する、新たな教育プログラムの実現です。募金開始に先立って、「少人数・適正規模教育」への取り組みも始めています。2020年度、新型コロナウイルス禍で特殊な学校運営を迫られる中、2年生の全教科で「少人数・適正規模教育」に取り組みました(2学級増やして少人数学級を実現)。教員と生徒で双方向授業を展開できるようになった結果、生徒の授業への積極性が向上し、教員による個別指導もこれまで以上に進めることができました。

ただし、今後本格的に、「少人数・適正規模教育」や「多様な交際」をすすめるためには、施設面での拡充が必要になります。「開設75年事業」の中で計画されている「多目的棟建設」は、このような要請にこたえるものです。建設に当たっては、皆様のご理解のもと、開設75年事業に関わる資金につきまして、広くご協力賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス変異株の広まりによって先が見通せない状況が続きますが、慶應義塾志木高等学校が歩みを止めることはありません。本年3月24日(日)、大森正仁常任理事ご臨席のもと、生徒と一部の関係者のみで行われた卒業式では71期・255名の生徒が巣立ちました。卒後40年の皆様には出席いただけませんでしたが、慶應志木会賞については、代わりにご報告させていただきました。また、4月4日(日)には、長谷山彰塾長、大森正仁常任理事ご臨席のもと、やはり、生徒と一部の関係者のみで入学式が行われ、237名の新入生(74期生)を迎えました。未来の志木会会員の成長を見守っていただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様のご無事と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

志木高開設75年

2021年5月吉日 関係各位
慶應義塾志木高等学校校長 高橋 美樹

慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業へのご寄付のお願い

謹啓

慶應義塾志木高等学校卒業生・関係者の皆様におかれましては、新型コロナ禍下でもご活躍のことと存じます。さて皆様ご存知のとおり慶應義塾志木高等学校は、2023年に開設75年を迎えます。この機会に、本校では、近未来の教育方針を象徴する標語を、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」と定め、新たな教育プログラムを立ち上げることにいたしました。

「『数理と独立』の教育」というとき、その本質は、真理原則の飽くなき追求と、その応用にあります。このような実学重視、独立心を養成するような教育をより一層進めるため、少人数・適正規模教育をより一層推進してまいります。ただし、現在の志木高に、少人数・適正規模教育にふさわしい施設が備わっていないことは、皆様ご推察のとおりです。

新たな教育プログラムに必要な施設として、その中核をなすのが、「多目的棟」の建設です。多目的棟には、1学年超を収容できるホール、少人数・適正規模教育を実現する中・小教室群、「多様な『交際』」に関わる和室や音楽室が用意される予定です。この施設の完成により、今まで以上に「『数理と独立』の教育」「多様な交際」を実践できるようになります。「多目的棟」建設には総額で12億5,000万円がかかりますが、うち2億9,000万円は、本校が募金で賄わなければなりません。卒業生・関係者の皆様に、ご協力をお願いする次第です。

本事業は、慶應義塾の一貫教育を担う本校として、長い将来を見据えた教育事業です。皆様とともに、未来に向けて、慶應義塾志木高等学校の新たな歴史を刻むことは、慶應義塾伝統の「社中協力」や「人間交際」「半学半教」の精神にも通じます。

つきましては、開設75年事業にご協力・ご寄付を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白

志木高開設75年事業について

2017年以降に適宜志木会会報でお知らせしてきた開設75年事業は、2021年3月の評議員会で正式に決定されました。そして5月21日にオンライン幹事総会でキックオフを行い、募金を開始しました。あらためて事業の内容と募金のご案内をいたします。

2023年に志木高開設75年の誕生日がやってきます。これまでの長い間、志木高を支え、発展を繋いだ数々の先人達、先生達、先輩達の大変なご努力に、改めて心から感謝を申し上げます。そして、益々先進していくであろう「未来に続く志木高づくり」に有益な新棟建設のために、これから建設募金の委員会が立ち上がります。

志木高の歴史の中では、時代時代の新しい先端の考え方とその施設を導入しながら、幅広く教育の機能が強化され続けて来ました。その努力の長い積み重ねが、今日の志木高の発展を支えています。

しかし、一方では社会の動きは速い。開設75年のこの機会に、更に「幅広く教育活動ができる多目的棟」を校内に建設するために、我々は1万6,000人もの慶應志木会メンバーで募金を行い、有益な教育機能の充実の支援を図っていきます。

今回、私が志木会に推薦されまして、募金委員会の委員長を拝命しました。皆様からの強い力を頂いて、開設75年のこの機会が、大きな成果となること、更には次の100年に向かっての意志を繋ぐ、素晴らしい力になることを期待しています。

皆様方の募金へのご助力ご支援を、どうぞ宜しくお願い致します。



募金委員長

伊藤 雅俊

(16期、味の素会長、
日本スポーツ協会会長)

事業について

開設75年事業…新教育プログラムのための多目的棟の建設他

『数理と独立』の教育を実践する場として、新たに多目的棟を建設します。また、これに合わせた記念式典・行事を行い、記念誌を発行します。

■多目的棟は、新たな「交際」を生み出す豊かな実験場となります

- 芸術を始めとするさまざまな発表の場 外部施設を利用して、地域に還元していた芸術鑑賞の場を自らの施設から提供（3階ホール）
- 国際交流の基本は自国の文化の理解 日本文化を理解する象徴的な場として、「茶室」を用意。茶道以外のさまざまな日本文化を紹介（1階和室）
- 少人数・適正規模教育をより一層極めるための小教室群 語学などを中心に、より高い効果が期待できる少人数・適正規模教育実践の場を用意（1階小教室）
- 文化発信の場 グラフィックアートで世界的に活躍する本校出身大山エンリコイサム氏の作品を鑑賞できるフロアを設置。型に囚われない可能性を象徴（3階ホール）

講演会や演奏会等を行う一学年を収容できるスペースが今までありませんでした。体育館や外部施設を利用してきましたが、校内にこのようなホールを持つことは長年の希望でした。また、PC・視聴覚・多言語・国語科・社会科などで少人数教育の重要性が高まり、従来のメディア棟だけでは小教室の不足感が深刻となりました。小教室を増やすだけでなく、中教室への臨機応変な転用、国際文化交流の舞台としての利用も想定しています。

■多目的棟の建設概要

- 建設場所 メディア棟南側 音楽教室解体跡地
- 構造規模 鉄筋コンクリート造、地上3階建て、延べ面積1938㎡（586.2坪）
1階小教室や和室、2階音楽教室、3階300名収容の小ホール
- 工事費等 12億5千万円
- 資金調達 義塾負担9億2千万円 募金3億3千万円、内4千万円はPTA募金積立金を充当、今回募金額は2億9千万円となります。

慶應義塾志木高等学校開設75年事業募金のご案内

■募金概要

- 募金名称 慶應義塾志木高等学校開設75年事業募金
- 募金目的 慶應義塾志木高等学校開設75年事業資金として
- 募金目標額 2億9千万円 学内募金として
- 募金期間 2021年4月1日～2024年3月31日
- 募金対象 個人、法人、団体（有志団体等）
- 一口1万円、できたら三口以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金目標額2億9千万円は、学内募金として約16,000名の志木会と教職員から寄付を募ることになります。億単位の募金は志木高開設以来初めてであり、ハードルは高いと思われます。募金対象は個人・法人・団体ですが、法人から高校への寄付は法人事業との関連性が希薄で難しく、個人からの寄付が主になると予想されます。

以前志木会会費1万円お願いしていた時には約3000名の方が応じて下さいました。今回はもっと強くお願いするとしても、4000名が応じてくれるかどうかではないでしょうか。このペース募金額が、3万円×3000名～4000名で1億程度となります。やはり大口の募金が必要となります。100万円×100名で1億、100万円は難しいが銘板に名を刻める30万円×300名で9千万。以上で2億9千万円となります。皮算用でしかありませんが、漠然と皆様をお願いしても達成できないと思いますので、このような構想も必要かと思います。もちろん、法人、特にオーナー企業の募金、クラブ等の有志一同としての団体からの募金もお願いします。

志木高開設75年



■お申し込みについて

○個人としてお申し込みいただく場合

クレジットカード（インターネット募金）

慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業ウェブサイト (<http://75th.shiki.keio.ac.jp/>) から申込み、クレジットカードでお支払いいただけます。海外からのご寄付もできます。

ゆうちょ銀行（郵便局）

慶應義塾所定の「振込用紙（兼申込書）」をお使いのうえ、郵便局の窓口または ATM でお振込みください。振込用紙は 6 月会報に同封しますが、必要に応じて志木高窓口にご請求いただければ郵送いたします。なお、他の銀行からの振込には対応していません。

○法人・団体としてお申し込みいただく場合

個人の取り扱いと異なりますので、お手数をおかけしますが、慶應義塾基金室までご連絡ください。個別にお話を伺い、ご案内をお送りします。

■ご芳名の発表

ご寄付を賜りました方々のご芳名は、ご希望により慶應義塾の機関誌である「三田評論」に金額とともに掲載させていただきます。

なお、1,000 円以上の寄付者にはご芳名が掲載された「三田評論」を郵送させていただきます。

■ご寄付者の顕彰

慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業への寄付の累計が 30 万円以上の個人・法人・団体は、そのご厚志への感謝のしるしとして、新多目的棟内に顕彰銘板を作成し、ご芳名を掲げさせていただきます。また、新多目的棟記念式典にご招待いたします。累計 3 万円以上のご寄付を賜った方には、記念品を郵送させていただきます。

■寄付金に対する免税措置について（2021 年 4 月現在）

税務署に確定申告することで寄付金控除をお受けいただくことができます。個人は暦年、法人は事業年度ごとの控除となりますので、募金期間 3 年の各年に適用することができます。

○個人の場合（例：東京都港区在住 課税所得金額が 500 万円の場合）

例 30,000 円寄付	①所得税	②住民税	=14,000 円 の減税
	$(30,000 - 2,000) \times 40\% = 11,200 \text{ 円}$	$(30,000 - 2,000) \times 10\% = 2,800 \text{ 円}$	

①所得税の寄付金控除

<税額控除を選択した場合>

$(\text{年間の寄付金合計額}^{*1} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = \text{寄付金控除額}^{*2} \rightarrow \text{所得税額から控除}$

※ 1 年間の寄付金合計額が、年間総所得金額等の 40% を超える場合、40% に相当する額が限度額となります。

※ 2 寄付金控除額は、所得税額の 25% が限度となります。



事業について

<所得控除を選択した場合>

年間総所得額の 40% を限度として、その年の寄付金の合計額から 2 千円を引いた金額が、その年の所得から控除されます。

②個人住民税の寄付金税額控除（東京都・神奈川県・埼玉県・山形県・大阪市にお住まいの方）
（寄付金額^{※3} - 2,000 円）×控除率^{※4} = 住民税の控除額

※3 年間総所得金額等の 30% が限度額となります。

※4 控除率は、最大 10% となります。

○法人の場合

「受配者指定寄付金制度」により寄付金全額が損金に算入できます。

または、「特定公益増進法人に対する寄付金制度」により一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

○相続財産について

相続された財産を相続税申告期限内（ご逝去された翌日から 10 か月以内）に慶應義塾に寄付し、税務署に申告することにより、そのご寄付は相続税の課税額から除外され、非課税になります。なお、文部科学省の「相続税非課税対象法人の証明書」が必要で、発行するのに約 2 ヶ月を要しますので、お早めに基金室までご相談ください。

寄付金控除の詳細は、基金室 Web サイト <https://kikin.keio.ac.jp/menzei.html> をご覧ください。

ご連絡・お問い合わせ先

■事業・募金について

慶應義塾志木高等学校 開設 75 年事業担当

〒353-0004 埼玉県志木市本町 4 - 14 - 1

TEL 048-471-1361（平日 9:00 ~ 16:30）／ FAX 048-471-1974

E-mail shiki-soumu@adst.keio.ac.jp

志木高等学校 Web サイト <https://www.shiki.keio.ac.jp>

趣意書については、開設 75 年事業ウェブサイト（<http://75th.shiki.keio.ac.jp/>）をご確認ください。

■法人・団体の申し込み、免税措置について

慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田 2 - 15 - 45

TEL 03-5427-1717（平日 9:00 ~ 17:00）／ FAX 03-5427-1546

E-mail kikin-box@adst.keio.ac.jp

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会		志木高等学校
	R3年度予定	R2年度実績	R3年度予定
4月			4/4 入学式（10：00） 4/5 ガイダンス 4/21 健康診断
5月	5/21 幹事総会、75周年キックオフ会 （ZOOM開催）		5/12～13 1年生総合学習研修旅行 5/29 早慶戦
6月	6/27 枇杷の会* ² （通信にて） 会報発行	6/28 枇杷の会* ² （通信にて）	6/21～25 第1回定期試験 6/28～30 クラスマッチ
7月		7/7 幹事総会	7/13 第130回志木演説会 7/19～ 夏季休業
8月			
9月	9/14 第8回志木マスターズ：桜が丘CC 9/18 校内自然観察会* ¹	9/4 第7回志木マスターズ：藤ヶ谷CC 親睦ゴルフ会として開催	～9/4 夏季休業 9/27～30 3年生見学旅行 9/28～10/1 2年生研修旅行 9/28～29 1年生救命講習
10月	10/17 連合三田会（オンライン開催） 10/23 5高JKカップ 10/30～31 ホームカミングデー 収穫祭：志木高 （20期&45期）&（21期&46期）	10/18 連合三田会出展 コロナのため開催中止 10/24 ホームカミングデー（収穫祭） （20期&45期：志木高） コロナのため開催中止 会報発行	10/14 運動会 10/30～31 収穫祭
11月	11/28 枇杷の会* ² （大磯海岸と鳴立庵周辺）	11/29 枇杷の会* ² （通信にて）	11/3 学校説明会 11/17～22 第2回定期試験 11/25～27 クラスマッチ
12月			12/8 マラソン大会 12/10 第131回志木演説会 12/20～ 冬季休業
1月			～1/6 冬季休業 1/11～14 3年生第3回定期試験 自己推薦入試
2月	幹事新年会	幹事新年会 コロナのため開催中止	一般・帰国生入試 2/17～21 1,2年生第3回定期試験
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待（30期&31期）	3/24 卒業式 卒業40周年招待（31期） コロナのため招待中止	3/24 卒業式（10：00）

*1：志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）

*2：枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます

★R3年度の行事予定は、コロナウイルス感染拡大の影響により、変更または中止になる可能性があります。
都度、ホームページ等でご確認下さい。

志木会会費制度の変更について

前号にて周知の通り、平成 30 年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5 年で 1 万円」（年 2,000 円換算）としてまいりました。しかしながら、会費納入率（平成 29 年度実績）は、全卒業生約 15,000 人の約 18%と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

【新制度について】 68 期より

① 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円／人を納付いただく。

② OB の従来の会費制度を基本、廃止する。

●但し、合計 3 万円を未納の 58 期～ 67 期までの OB は、3 万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選別いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成 21 年度秋より毎年数名への給費（令和 2 年度までに合計 33 名）が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への用途指定寄付金として税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

募金単位 1 口 1 万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL : 048-471-1959 Mail : info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教員

退職▶専任	徳竹 成之 君（数学科）	*女子高へ異動	非常勤講師	5名
新任▶専任	矢島 佑紀 君（数学科）	*普通部より異動		
	松野 大輔 君（英語科）	*女子高より異動	非常勤講師	6名

職員

退職▶事務員1名、嘱託職員1名、派遣（理科助手）2名
 新任▶事務員1名、派遣（理科助手）4名

訃報

牛尾 格 君（元数学科教諭）
 龍田 正浩 君（元数学科教諭）

謹んでご冥福をお祈りいたします

『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年度で15回目を迎えました。

令和2年度は、5団体と3名の生徒を表彰いたしました。

1. 水泳部（2名）
推薦者：水泳部部长 樋口 裕輔 教諭（5年連続受賞）
2019年度 関東高等学校水泳競技大会
400 mメドレーリレー、800 mリレー出場
2020年度 学校総合体育大会 50 m背泳ぎ優勝
2. 空手部（1名）
推薦者：長谷川 泰史 教諭
2019年度 関東大会埼玉県予選会、全国大会埼玉県予選会
男子個人形 優勝
2019年度 埼玉県新人大会 男子個人形 優勝
2019年度 関東選抜大会 男子個人形 北ブロック優勝
2019年度 KARATE1 プレミアリーグ 2019 男子個人形
ラバト大会 13位、上海大会 5位、東京大会 9位
3. 鉄道研究会（1名）
推薦者：鉄道研究会部長 石島 慎一郎 教諭
日本大学理工学部交通システム工学科写真コンテスト 2020 入選
4. 端艇部（2名）
推薦者：端艇部部长 中地 譲治 教諭（9年連続受賞）
端艇部副部长 池田 卓也 教諭
2019年 第30回全国高等学校選抜ボート大会
男子舵手付きクォドルブル 2000 m埼玉県代表 3位
男子ダブルスカル 2000 m埼玉県代表 16位
5. ゴルフ部（1名）
推薦者：ゴルフ部部长 原 浩史 教諭
2020年度 関東高等学校ゴルフ選手権特別大会男子
団体埼玉県大会 4位、個人埼玉県大会 18位、
個人決勝出場 67位
6. 青木 淳 君
推薦者：伊藤 良司 教諭、長谷川 泰史 教諭
第17回「和算に挑戦（中級の部）」優秀賞
7. 柳沢 命究 君
推薦者：伊藤 良司 教諭、長谷川 泰史 教諭
第21回「算額をつくろうコンクール」奨励賞
8. 中田 康史 君
推薦者：原 浩史 教諭
2020 Global PyTorch Summer Hackathon の PyTorch Responsible
AI Development Tools 部門 最優秀賞 1st Prize

以上

體育部會NOW／第21回

ソフトテニス部 監督 浪川 浩行／副部長 松井 洋

令和3年度の志木高ソフトテニス部は3年生4名、2年生3名、さらに1年生が15名加わってスタートしました。経験者も初心者も入り混じり、互いに切磋琢磨しながら日々楽しく活動しています。「人間として成長すること」「仲間、家族、応援してくれる人を感動させること」「伝統を次世代に継承すること」を目標とし、ソフトテニスの実力向上とともに社会性を身につけることを目指しています。

全慶應大会や慶應オープン大会等により大学や塾高との関わりも深く、毎年夏に行われる六大学附属高校大会を通じた高校間の交流もあります。またコーチ陣はもちろんのこと、副部長も志木高ソフトテニス部のOBであり、コーチ等でなくとも折を見てOBが活動に参加しに来るなど、学校や世代を超えた強いつながりをもっていることがソフトテニス部の特長です。多くの方々に支えていただきながら、今日まで活動を継続できていることは大変ありがたいことだと思います。

平成28年度には新人戦、平成29年度には関東予選埼玉県大会、平成30年度にはインターハイ予選でそれぞれ県大会まで出場しましたが、最近は県大会まで残ることができておりません。努力を続けておりますが、昨年度は新型コロナウイルスの影響によりほとんど活動ができず、大会等も多くが中止となり日頃の練習成果を発揮する機会に恵まれませんでした。未だコロナ禍終息の兆しが見えない中、今年度もどこまで活動できるのかわかりません。しかしこれまでの伝統を受け継ぎ、次の世代へ伝えていくためにも、部員一同可能な範囲で活動を継続していく所存です。

文化部会NOW／第21回

生物部 部長 井澤 智浩

生物部は創部63年になる伝統ある部です。部員数は常に少なく小規模ですが、生き物好き、自然好きが毎年必ず入部してきて、生き物談義に花を咲かせます。活動は昔からフィールドがメインです。校内に生息する動植物を調査、観察しています。昔に比べて、学校の敷地も狭くなり、森林の面積も減りましたし、野火止用水もないので、生物種はかなり減少してしまっていると思われます。それを補うべくビオトープの造成をし、訪れる生き物を調査しています。少なくなったとはいえ、オオタカやカワセミ、サギ、アオバト、タヌキ、オニヤンマ、チョウトンボ等々、まだまだいますので、見つけた時の感動は他に代えがたいものがあります。一昨年は、志木市で環境省の巨樹調査がなされ、校内でも8本の巨樹が見つかりました。校内の自然もまだまだ捨てたものではありません。

また、生態系を生かす有機農業を目指しての畑作業。三重県での「志木の森ツアー」には部として参加して、林業を学び、森の活動に勤しんでいます。昨年以来、このコロナ禍で、合宿をはじめ様々な活動が出来ずにいました。田畑も1年間ですっかり荒地と化してしまいましたが、この春よりまた雑草を取り、耕して、畑作業を再開しました。1年生は6人入部してくれ、総勢16名と近年では最も多い部員数です。早くコロナ禍が過ぎることを期待しながら、SDGsなど意識しつつ校内の自然を守り、これからも少しずつ地道な活動を進めていきたいと思っています。

クラブ戦績

クラブ	戦績
体育部会	
硬式野球部	2020年度 夏季埼玉大会南部地区大会1回戦 対細田学園1-4 / 秋季県大会南部地区予選1回戦 対大宮東1-14(5C) / 2021年度 春季県大会南部地区予選1回戦 対四校連合53-0(5C) 代表決定戦 対浦和8-4 / 県大会1回戦 対熊谷工業2-4
競走部	学校総体西部地区予選 1500m若林大生4位、高木皓大8位 5000m若林大生2位、大津瑞喜6位 3000mSC大津瑞喜8位 / 県高校新人陸上競技大会県大会出場800m吉田航太郎、島田亘 1500m島田亘、大津瑞喜 5000m大津瑞喜 / 全国高校駅伝競走大会埼玉県予選20位
卓球部	R2.8学校総合体育大会(夏季大会・県内大会) 出場 / R2.9西部地区卓球選手権大会出場 / R2.11西部地区私学卓球大会出場 / R2.12 埼玉県ジュニア卓球選手権大会出場 / R3.1 新人大会埼玉県西部地区予選会出場 / R3.4 関東大会兼全国高校総体埼玉県西部地区予選会出場
庭球部	新人戦埼玉県大会個人シングルス鳴戸、嶋岡、有賀出場 ダブルス鳴戸・有賀出場 団体ベスト16 / 埼玉県高校一年生チーム対抗戦予選 団体ベスト8、本戦2回戦対県立浦和2-1 3回戦対川越東0-2
ラグビー部	全国大会埼玉県予選1回戦対所沢北52-7 2回戦対立教新座59-0 準々決勝対城西川越46-7 準決勝対昌平5-26
端艇部	埼玉県高等学校新人ボート大会 2MX 準決勝3位、4位 4MX+ 2位、準決勝5位 / 関東高等学校選抜ボート大会 4MX+ 4位
バレーボール部	第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会西部地区予選会 2回戦対立教新座2-1 3回戦対所沢北0-2 敗者復活戦対東野1-2
ホッケー部	選抜大会予選 対飯能0-4
サッカー部	選手権1次予選 2回戦対草加西2-0 代表決定戦対浦和ルーテル13-0 / 選手権決勝トーナメント 1回戦対越谷南3-0 2回戦対細田学園2-3
バスケットボール部	ウインターカップ西部支部予選 県大会出場決定 / 全国高校バスケットボール選手権大会埼玉県予選会ベスト32 / バスケットボール新人大会 支部予選西支部4位

クラブ	戦績
弓術部	新人戦Aチーム富岡・吉川・大河内9/24三次予選進出ならず / 全国選抜県予選Aチーム大河内・吉川・富岡3/12 Bチーム松山・篠井・稲垣1/12二次予選進出ならず
ゴルフ部	関東高等学校ゴルフ選手権特別大会埼玉県大会男子団体の部4位、男子個人の部 金子拓馬18位 (関東大会進出) / 関東高等学校ゴルフ選手権特別大会全国特別大会予選 金子拓馬67位
剣道部	高校総体代替試合 1回戦対武南1(1)-0(0) 2回戦対草谷西2(5)-3(6) / 第11回早慶対抗剣道試合 早稲田大学本庄高等学院0(1)慶應義塾志木高等学校9(13)優秀選手・大野幹太 / 埼玉県西部支部新人戦 2回戦対筑波大学坂戸4(8)-1(2) 3回戦対川越南3(6)-1(2) 4回戦対山村学園0(2)-5(10) / 選抜予選埼玉県新人大会 1回戦対大宮南2(3)-2(2) 2回戦対春日部工業2(3)-0(0) 3回戦対山村学園 (本大会第3位) 0(0)-3(5)
スキー部	インターハイ予選GS吉澤9位 上柳DF、SL吉澤DF 上柳41位 / 国体予選吉澤11位 上柳46位 / 新人戦GS吉澤7位 SL吉澤7位
ソフトテニス部	埼玉県学校総合体育大会 宇津木・加藤ペア 3回戦進出 / 新人大会西部地区予選会1回戦対朝霞1-2 / 江東区区长杯争奪ソフトテニス大会一般男子二部 阿部・西田優勝 / 西部支部大会男子二部 横田大岡3回戦進出
水泳部	令和2年度埼玉県高等学校総合体育大会 50m背泳ぎ 足立開優勝、100m背泳ぎ 足立開5位、50m自由形 橋本裕大8位、200m自由形 丸橋碧人7位、50m平泳ぎ 南祐翔3位、50mバタフライ 齊藤大翔3位、100mバタフライ 齊藤大翔5位 / 令和2年度埼玉県高等学校新人大会 男子総合4位、100mバタフライ 齊藤大翔3位、200mバタフライ 齊藤大翔2位、200m自由形 丸橋碧人4位、400m自由形 丸橋碧人4位、100m平泳ぎ 南祐翔7位、200m平泳ぎ 南祐翔8位、400mリレー 徳永・齊藤・南・丸橋4位、400mメドレーリレー 平林・南・齊藤・丸橋6位、200mリレー 徳永・齊藤・南・丸橋4位
軟式野球部	夏季埼玉県軟式野球交流戦 対伊奈学園総合12-4 対熊谷2-3 / 秋季関東大会予選 対花咲徳栄0-7
空手部	埼玉県新人戦 個人組手 初戦敗退、2回戦敗退

俳句「枇杷の会」で 友達の輪を広げませんか!

テレビのお陰で「俳句はむづかしい」という誤解は、大分解けてきたように思います。

芭蕉や蕪村の時代から俳諧は仲間になる遊びでした。今も俳句が同窓の仲良しになるきっかけになっています。枇杷の会では都内、あるいは郊外の一度は行って見たかった自然環境に恵まれた公園、寺社などに集合し思い思いに句を詠みます、句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。志木校に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。



今年度は次のように予定しています。

志木会会員各位の参加をお待ちしています。又、ご家族ご友人の参加也大歓迎です。

- ・令和3年6月27日(日) 通信句会を実施
- ・令和3年11月28日(日) 晩秋の大磯海岸と西行法師縁の鷗立庵周辺を予定

詳細はメールマガジンで告知します、参加の申し込みは志木会事務局まで。

**昨年度はコロナの為、集会は避け通信句会で2回実施しました。
その時の句の一部をご紹介します。**

- | | | | |
|-----------------|----|----------------|-----|
| ・嵐電に場末とてあり夕時雨 | 英 | ・石段の半ばに時雨来りけり | 次郎 |
| ・時雨るるやマスクに覚ゆ温かさ | 紘二 | ・紅葉の懐に入り一人佇つ | 善兵衛 |
| ・大根煮美味し妻居て家の味 | 恭輔 | ・特急も急行もなき時雨かな | かおる |
| ・紅葉と朱色を競う仁王門 | 伸次 | ・松並木より見上げた時雨かな | 祐之 |
| ・地下鉄を出でて北山時雨かな | 孝治 | ・長き髪時雨の粒を纏ひけり | 経 |
| ・北山は晴れ烏丸は夕時雨 | 洋太 | ・時雨とて暮れて海峡小波立ち | 一舟 |

平成14年6月に志木高で旗揚げしてから、今年11月末の大磯海岸句会で52回目になります。第1回句会からこれまで丁寧にご指導頂いている、本井英元教諭に感謝です。これを機会に句会を覗いてみませんか。

今までの活動は志木会ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.keio-shikikai.com>

枇杷の会幹事・深瀬啓司(15期)

同期会 & OB会 だより

第 15 期 —昭和40年卒—

「俳句を始めた」

一昨年末倉田君と深瀬君の三人で食事をした時、75歳になったら会社を辞める話をしたところ、辞めた後の過ごし方の一つとして、お二人から俳句を勧められた。その時は、コロナが中国の武漢で大変な事になっていたが、日本で今日の様になるとは全く思っていなかったのも、その内にという程度に思っていた。

それが昨年4月の緊急事態宣言である。特に4月から6月迄はコロナに対する知識も対応の仕方も全く分からなかったし、高齢者は重症化リスクが高いと言われたので、殆ど家での毎日であった。

それで俳句である。これが巣ごもり生活には良かった。始めると結構凝る性格で、お二人にアドバイスを頂いたり、芭蕉や蕪村の本や、歳時記や幾つかの俳句の本を読んで勉強し、多少の句作りもした。

会社人間になって以来、巣ごもりと言う初めての長期の時間を、俳句に真正面から向き合っ、枇杷の会にも入れて貰い、昨年は春と秋のオンライン句会にも参加した。今は不思議だが時間があると句作りをしている。それは俳句が自分に充分有意義になって、楽しく感じられる様になって来たからと思う。お二人には感謝申し上げる次第。

因みに、会社を辞める時は、このような感じで辞められれば、と思っている。

“惜しみつつ惜しまれつつの花吹雪”

15期 工藤 恭輔

第 15 期 —昭和40年卒—

「後期高齢者世代でもオンライン同期会楽しめます」



昨年コロナ騒ぎが始まり、毎年の楽しみの一つでした15期の集まり、亦楽会の開催が中止となる中、自称オーディオ評論家でインターネットにめっぽう強いD組大関君の発案でZoomアプリを使った同期のオンラインの集いを始めました。当初は一昨年の志木会報でお伝えしたE組幹事団の仲間を中心に8名で発起人会を開き、その後11月、1月、3月と回を重ね5月に予定されている集いには40名近い仲間が集まる予定です。

オンラインの集いは、コロナ禍で会うことができない友人と大人数で顔を見ながら話すことができ、どんな遠くにいても交通費、移動時間なしで参加でき、今まで体験したことない楽しい時間を提供してくれます。後期高齢者世代となり仲間の多くがビデオ通話未経験でしたが、大関君の無料サポートセンターのおかげでパソコン不得手な方も簡単にZoomミーティングに入ることができるようになりました。人生100年時代に入り、インターネットを使ったビデオ通話体験は終生活用できる貴重な財産だと思います。添付の写真は3月のお花見の集いでE組の吉川忠英君ことアコギ亭忠助のギター落語を聴き入る亦楽会の仲間のZoom風景です。尚、次回5月の集いでは昨年の志木会報で紹介したDr. 大川の「熟年世代でも楽しめる建設機械の歴史」の講演が予定されております。

文責：15期E組 倉田 伸二

第28期 —昭和53年卒—



令和3年5月4日、28期ゴルフ会が桜ヶ丘カントリークラブで開催され、15名に参加頂きました。徹底した三密対策もあって無事ホールアウト出来ましたが、ご尽力を頂きました当ゴルフ場社長 武井良仁君に改めて御礼申し上げます。

同期自慢となりますが、今日現在、共通のSNSグループに58名が入っており情報の共有、各種イベント開催（ゴルフ、慶早戦観戦、会食等）のベースとしております。特にゴルフ会は盛んでありこれまで、森林公園、武蔵、長竹、本厚木、桜ヶ丘、藤沢、小田急西富士といった名門でのラウンドを楽しんできました。9月14日開催

予定の志木マスターズでは、コロナも収束していることを願っております。

最後に。令和5年、志木高は開設75周年を迎えますが、母校の更なる発展のために何が出来かを、同期一同で考えて参りたいと思います。

28期B組 南村 譲治

バスケットボール部OB会



1対1練習で果敢にディフェンスする小武さん

野火止会（バスケ部OB会）では、年次報告を令和元年（2019年）度より制作開始しており、令和2年（2020年）度の報告が今年の3月に会員に共有されました。

その中で、是非志木会報にもエッセンスを共有したいと考えた記事が、今回ご紹介する、昭和48年（1973年）卒の小武久隆さんによる寄稿「バスケットボール日本代表奮戦記」です。

ご承知の通り、東京オリンピックでは開催国枠で日本代表「AKATSUKI FIVE」が登場予定であり、これは何と45年ぶりの快挙です。

その45年前、昭和51年（1976年）モントリオールオリンピックに、チームの一員として帯同したのが小武さんだったというのは、知る人ぞ知る逸話として語り継がれてきました。

試合に出る選手としてではなく、代表チームの世話役としての参加でしたが、監督、コーチと小武さんという僅か3名のみでチーム運営を担ったというスーパーマンぶりを発揮し、日本代表を陰で支えてくださったのです。

今回の寄稿で特に印象的だったのは、小武さんの目から見た日本代表選手の姿でした。一部引用します。

「一流となる方たちは、自分の武器や役割を十分認識して、それを磨き上げる努力を日々していることに感心（中略）彼らをそこまで突き動かしていたのは、日本代表であるというプライドと自己犠牲心なのではないでしょうか。」

「トップになる選手は、プライドも高く、また自我も強く、ある意味扱いにくい選手ばかりです。この選手たちを束ねてチームとして機能させるには、できるだけ多くの時間を同じ場所で過ごすことでお互いを知ること、信頼感を醸成させることが必要でした。（中略）合宿を重ねるうちに 大きな目標よりも、チームという家族のため、監督・コーチという親のため戦うという絆みたいなものが出来てきたように思います。」

紙幅の都合でかなり端折らざるを得ませんでした。日の丸を背負って戦った小武さんの貴重な経験を、少しでも感じていただけたなら幸いです。

文責：42期 平賀 敦巳

クラブバス乗り場

バスターミナル

京王百貨店
(せいけいSC 5B館)

西 東

京王百貨店
(せいけいSC 5A館)

クラウン街

タクシー
乗り場

交通

The image displays three views of a white polo shirt. The main view shows the shirt hanging on a grey hanger, featuring a black and white striped collar and a small logo on the chest. Two inset images provide close-ups: the top right shows the collar area with a small logo, and the bottom right shows the sleeve with a larger logo and the text 'KEIO SUEA'.

20期／45期&21期／46期 ホームカミングデーのお知らせ

日時 令和3年10月30日(土)、10月31日(日)

場所 慶應志木高校

会費 無料

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、収穫祭の開催方法に変更がある場合は、ホームカミングデーの招待も中止になる場合もございます。詳細が決まりましたら、メールマガジン・ホームページに掲載させていただきますので、ご確認下さい。



収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会 委員長 工藤龍之介君

皆さんこんにちは。第74回収穫祭実行委員長の工藤龍之介です。

今年のテーマは「志木高列伝」となりました。昨今の時事性も踏まえたテーマとして企画しています。

新型コロナウイルスの拡大状況がどうなるのか未知数ではありますが、現地開催でもオンライン開催でも、盛り上がりのある収穫祭になるよう精一杯活動していきます。

今年度も志木高生全員だけでなく来場者の方々にも楽しんで貰えるよう最高の収穫祭を創ります。

収穫祭実行委員への応援をどうぞよろしくお願い致します。

令和2年度 卒業40周年ご招待 中止のご報告

令和2年度の卒業式(令和3年3月24日)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生徒と教員と一部の関係者のみで執り行われ、卒業40周年の皆様のご招待は中止となりました。

対象期であった31期の皆様には、懐かしい校舎で友人との再会を楽しみにされていたかと思いますが、ご理解賜りますよう宜しくお願いします。

令和 2 年度 慶應志木会 収支報告書

[令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日]

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	23,503,130	会 報 費	2,512,950
		会 議 費	0
維 持 会 費	20,000	交 際 費	33,000
新 入 会 費	7,650,000	通 信 費	51,882
物 販 収 入	94,970	事 務 費	18,260
雑 収 入	10,100	事 業 費	428,050
		パ ソ コ ン 関 連 費	41,000
		寄 付 金	900,000
		(収穫祭・卒業式・国際交流支援)	
		卒 業 式	438,390
		(卒業生記念品・志木会賞)	
		75 周 年 準 備 対 策 費	89,116
		雑 費	8,027
		(五高同窓会・支払手数料等)	
収入小計	7,775,070	支出小計	4,520,675
		次 期 繰 越 金	26,757,525
合 計	31,278,200	合 計	31,278,200

預金残高明細（令和 3 年 3 月末現在）

銀 行	種 別	適 用	管 理	残 高 金 額
ゆ う ち ょ	普通	新 入 会 費 口	上西	13,579,226
ゆ う ち ょ	振替	パ ー テ ィ 会 費 口	上西	0
三 井 住 友	普通	小 口	天野	2,416,356
ゆ う ち ょ	振替	維 持 会 費 口	芹澤	9,882,312
埼玉りそな	普通	小 口	芹澤	879,631
合 計				26,757,525

【監査報告】

慶應志木会会則第 18 条に基づき、令和 2 年度（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）の収支報告を監査した結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和 3 年 5 月 1 日

監 事 原 田 薫 (押印略)
監 事 増 山 治一郎

慶應志木会役員・幹事等（令和3年5月末現在）

■役員

名誉会長	高橋 美樹（校長）	
会長	坂上 隆彦（23期）	
副会長	上西 正之（23期）	財務・渉外担当
	大館 信（28期）	総務・企画・広報・情報管理担当
幹事長	中村 弘司（23期）	
副幹事長	夏目 雅（23期）	
会計監事	原田 薫（15期）	
	増山 治一郎（17期）	

■事務局幹事

宇野 宏（35期）	事務局長
金子 博志（20期）	情報管理担当
永井 利宗（27期）	企画・広報担当
青木 勝（33期）	総務担当
天野 徳雄（36期）	財務担当
田内 久晴（37期）	企画・広報担当
甲斐 正英（40期）	財務担当
大久保佐太郎（55期）	広報担当

■顧問

櫻井 英太郎（1期）	龍野 和久（1期）	多田 毅（7期）
五老 輝彦（9期）	品川 雅貴（12期）	本橋 重夫（15期）
鹿野 元章（16期）	阪東 宗文（16期）	西村 孝一（17期）
松下 賢次（21期）	山崎 嘉正（26期）	

■幹事

期	卒業年	幹事							
1	S.26 (1951) 年卒	藤井 淳	松本 仙太郎						
2	S.27 (1952) 年卒	忽滑谷 岱司							
3	S.28 (1953) 年卒	菅野 光男							
4	S.29 (1954) 年卒	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫				
5	S.30 (1955) 年卒	寺嶋 延行	関山 清	木下 聰					
6	S.31 (1956) 年卒	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉				
7	S.32 (1957) 年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正					
8	S.33 (1958) 年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏				
9	S.34 (1959) 年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩					
10	S.35 (1960) 年卒	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕				
11	S.36 (1961) 年卒	馬淵 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男			
12	S.37 (1962) 年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和				
13	S.38 (1963) 年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	飯島 智					
14	S.39 (1964) 年卒	小林 好二	築山 正俊	三関 峻	佐久間 義雄	藤田 正壽			
15	S.40 (1965) 年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司					
16	S.41 (1966) 年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫					
17	S.42 (1967) 年卒	莊 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真勝	中村 康二	川鍋 二郎		
18	S.43 (1968) 年卒	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良	間宮 勝	三村 信二	青沼 広海		
19	S.44 (1969) 年卒	大場 紹吉							
20	S.45 (1970) 年卒	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄					
21	S.46 (1971) 年卒	中 一弥	杉 雅俊						
22	S.47 (1972) 年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎	内山 洋一		
23	S.48 (1973) 年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕		
24	S.49 (1974) 年卒	城 克	深井 昭						
25	S.50 (1975) 年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	太田 敏一			
26	S.51 (1976) 年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修				
27	S.52 (1977) 年卒	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹					
28	S.53 (1978) 年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士		
29	S.54 (1979) 年卒	渡辺 規人	萩原 弘幸						
30	S.55 (1980) 年卒	鬼頭 真一郎	金森 悟	高橋 健三郎					
31	S.56 (1981) 年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 譲治					
32	S.57 (1982) 年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣	相田 英文				
33	S.58 (1983) 年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文				
34	S.59 (1984) 年卒	萩田 健之	福島 聡	布施 浩行	梶原 靖友	内匠屋 健			
35	S.60 (1985) 年卒	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学			
		小玉 裕	河野 潔	本多 関雄					
		大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎					
		須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也	永原 圭司	坂井 琢磨	萩原 太造		
		大澤 宏樹							

36	S.61 (1986) 年卒	阿部 元雅	澤田 克己					
37	S.62 (1987) 年卒	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一			
38	S.63 (1988) 年卒	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	荒瀬 光宏			
39	H. 1 (1989) 年卒	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳			
40	H. 2 (1990) 年卒	井上 晴生	税所 篤史					
41	H. 3 (1991) 年卒	柏木 徹	三田 貴良	須田 光貴				
42	H. 4 (1992) 年卒	安 重煥	小島 圭	御山 義明	大澤 康算			
43	H. 5 (1993) 年卒	藪原 一暁	高松 智之	田口 鍊				
44	H. 6 (1994) 年卒	宮田 真詩						
45	H. 7 (1995) 年卒	若松 洋雄	小山 一	小川 圭				
46	H. 8 (1996) 年卒	谷口 剛	川崎 聡					
47	H. 9 (1997) 年卒	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭	
		前北 馨						
48	H.10 (1998) 年卒	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広				
49	H.11 (1999) 年卒	石川 快	廣江 安彦					
50	H.12 (2000) 年卒	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収			
51	H.13 (2001) 年卒	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明			
52	H.14 (2002) 年卒	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎					
53	H.15 (2003) 年卒	森岡 多門	林 憲					
54	H.16 (2004) 年卒	塚本 大夢	中川 雅之					
55	H.17 (2005) 年卒	池端 俊太	小泉 貴史					
56	H.18 (2006) 年卒	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太	原口 惇			
57	H.19 (2007) 年卒	和田 亮	時田 亜希夫					
58	H.20 (2008) 年卒	宮山 明	佐藤 友紀					
59	H.21 (2009) 年卒	箱崎 勇人	本多 清礼					
60	H.22 (2010) 年卒	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太	松井 洋	古川 創一		
61	H.23 (2011) 年卒	井上 裕紀	富澤 直嗣	今野 秀一				
62	H.24 (2012) 年卒	荒木 謙人	岡本 尚之	加藤 将平	椎名 翔平	武藏 泰		
63	H.25 (2013) 年卒	星野 真瑠也	星野 宏太					
64	H.26 (2014) 年卒	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和	内村 朝樹	
65	H.27 (2015) 年卒	秋田 雅信	友野 雅樹					
66	H.28 (2016) 年卒	小林 翔	恩田 真希					
67	H.29 (2017) 年卒	菱刈 太一	本間 健太郎	大森 脩平	堀内 悠生	今野 裕三		
68	H.30 (2018) 年卒	松田 高幸	齋藤 正人					
69	H.31 (2019) 年卒	中山 元貴	堀永 尚					
70	R. 2 (2020) 年卒	長合 哲弥	關山 輝流	今野 真孝				
71	R. 3 (2021) 年卒	遠藤 界	脇田 克志					

■クラブ幹事

枇 杷 の 会	深瀬 啓司 (15 期)	ホ ッ ケ ー 部	菅野 芳哉 (29 期)	ス キ ー 部	渡辺 一仁 (51 期)
硬式庭球部	田中 真介 (17 期)	弓 術 部	小宮 雄造 (30 期)	鉄道研究会	滝上 紘之 (52 期)
硬式野球部	小川 光二 (17 期)	軟式テニス部	枇々木 規雄 (34 期)	ワグネル	南 琳太 (61 期)
應援指導部	渡辺 伸一 (17 期)	バスケット部	木村 尚敬 (37 期)	ワグネル	山浦 元気 (61 期)
卓 球 部	浅生 潤 (23 期)	バスケット部	平賀 敦巳 (41 期)		
バレー部	進藤 英典 (23 期)	サッカー部	中村 直人 (38 期)		

【幹事の訃報】

山本 雄一君 (13 期) 謹んでご冥福をお祈りいたします

編 輯 後 記

コロナ禍下の会報発行も、今年で2回目を迎えました。会員諸兄におかれては、長期に亘る辛抱が続いていることと存じます。各期の活動報告も、かつての1割程度と少ない状況ですが、そんな中でもオンラインでの同期会や、屋外でのレクリエーションなど、工夫を凝らした報告が増え、嬉しく思います。とはいえ、会員同士が気を遣わず、そして対面で集えることが一番でしょう。一日でもはやく、そうした日常が戻るよう願っています。(さたらう)

慶應志木会会報 2021.vol.41

編輯・発行 慶應志木会
(慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353-0004
埼玉県志木市本町4-14-1
TEL: 048-471-1959 (志木高内)
発行人 坂上 隆彦
発行日 令和3年6月20日
印刷 (株)アレックス
ウェブサイト <https://www.keio-shikikai.com/>
電子メール info@keio-shikikai.jp